

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	：十分達成できている
B	：おおむね達成できている
C	：やや不十分である
D	：不十分である

学校名	太良町立大浦小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・全項目でAまたはBの評価となり、概ね計画通りに教育活動が実施できた。 ・学力の向上に向けて更に授業の工夫と改善を行い、児童の思考力・表現力を伸ばしていく必要がある。また、児童が自己肯定感を高めるような取り組み、支援を全職員で行っていくことが重要である。特別支援教育に関する研修も引き続き実施し、全職員が特別支援教育的視点をしっかりと持って教育活動に当たれるようにしたい。 ・業務改善、働き方改革については随分と進んできた。学校が本来担うべき事柄について更に精査し、地域や家庭との役割分担を進め、教員の負担軽減につなげたい。また、ブロック制やプロジェクト制を意識した「チーム大浦小」としての学校組織力の向上に努めていきたい。
2 学校教育目標	ひこばえの心をもち、強く・かしく・美しく生きる子どもの育成を図る
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ①確かな学力の向上のため、日々授業改善に取り組み、児童が主体的・対話的に学び、自信をもって表現する態度の育成を図る。 ②自己肯定感や自己有用感をもち、人を思いやる豊かな心の育成及びふるさと大浦を誇りに思う心を育成するを図る。 ③粘り強く健やかな体の育成及び自他ともに命を大切にす体動の育成を図る。 ④働き方改革に対する教職員の根本的な意識改革の充実を図る。

4 重点取組内容・成果指標	5 最終評価
---------------	--------

(1)共通評価項目				最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	達成度（評価）	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標（数値目標）					
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。				
	○自信をもって表現する子どもの育成	○「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と回答した児童80%以上	・「授業づくりのステップ1・2・3 vol.2」を踏まえ、全教科の授業で「話し合う活動」を設定する。 ・学期ごとに振り返りを行い授業改善に努める。				
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学校評価アンケートにおいて、「自分にはよいところがある」「自分は誰かの役に立っている」の項目で肯定的な回答をした児童85%以上	・人権集会やほかほかの木、道徳に関するアンケートに取り組む。 ・QUアンケートに関する校内研修を実施する。 ・学級活動で構成的グループエンカウターの授業に取り組む。				
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○学校評価アンケートで、「まわりの人たちが、困っている人にやさしくしていますか」の項目で、肯定的な回答をした児童90%以上	・心のアンケートを実施し、いじめの早期発見に努めると同時に事業発生の際はチームで迅速な対応を行う。 ・担任と児童一人一人と話す「教育相談週間」を設定し、児童の状況の把握と信頼関係の構築を行う。 ・毎週木曜日の子ども支援連絡会を通し、教師間の情報共有かつ指導の統一を図る。				
	○生活指導の徹底	○学校評価アンケートで、「あいさつ上手、片づけ上手、おはなし上手」の項目で「よくできる」と答える児童80%以上	・毎月、クラスで生活目標のふり返しを行い、児童の意識の向上を図る。 ・全校朝会で生活の話をしたり日々の生活の中で良い行いをしている児童を見つけて褒めたりする。				
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	○ひこばえがんばりカードで就寝時刻を守ることができていると回答する児童90% ○アンケートで体力向上のために「休み時間には外に出て遊ぶ」と回答する児童80%以上 ○衛生検査で「朝ごはんを食べてきた」と回答する児童95%以上	・ひこばえがんばりカードに各担任が必ず目を通し、必要に応じて指導する。 ・外で遊ぶことの大切さや、スポーツチャレンジの取り組みなどで体を動かすことの楽しさを味合わせる。委員会の取り組みで声かけを行う。 ・栄養教諭と連携し、食育指導を各学年が年1回以上行う。				
	○健康管理及び健康習慣の定着	○学校アンケートで、健康管理のために自分で意識して手洗いや換気を行えたと回答する児童90%以上	・感染症対策を含め、日常的に意識して行えるように、委員会や保健だより、保健室前の掲示板を活用して啓発活動を行ったり、担任と養護教諭がTTで保健指導を行ったりする。				
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・自分の勤務状況を確実に把握するために出勤退勤カードの管理を確実に行うとともに、毎日予定ボードに必ず退勤予定時刻を明記し、実行する。 ・資料の事前配布やICTの活用により会議をスリム化し、会議の回数や時間を減らす。 ・毎週金曜日を定時退勤日として設定し確実に守るようにする。				
	○学校組織力の向上 ○ブロック制による学年経営 ○プロジェクト制による校務運営 ○各種主任、コーディネーターのリーダー性の向上	○「プロジェクトやブロック制を意識した業務ができた」と答える教員90%以上 ○「担当分野の内容改善を進んで行った」と答える職員90%以上	・ブロック主任、各部署は年間を通じて日常的に情報の共有を行い、ブロック主任は、意図的・計画的に教育活動が行われるように進捗状況を把握する。 ・プロジェクトリーダーを中心として、毎月の取組での重点的事項について内容・方法の検討や改善を行う。 ・各担当の内容について、職員会議での提案や連絡会での連絡を欠かさず行い取り組む。				

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	達成度（評価）	実施結果	評価	意見や提言
	重点取組内容	成果指標（数値目標）					
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援の関する専門性や意識が向上したと答える教員85%以上。	・特別支援に関する研修会を実施する。 ・子ども支援連絡会等で情報共有すると同時にケース会議を開催して個別の支援の対応を図る。				
◎主体的・意欲的な態度の育成	◎児童が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	○自分の夢や目標の実現に向けて努力する気持ちがあると答える児童80%以上	・全ての教科等、学校行事等を通して、夢や目標について自ら考えさせる時間や場面を設ける。 ・授業では必ず振り返りの時間を設定する。				

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育	
5 総合評価・次年度への展望	